

地域公共交通計画について

篠木 正明 議員



質問 前計画で計画されたが、実現しなかった路線で解消するはずだった「公共交通が不便地域」への対応はどうするのか。

答弁 第2次計画では、需要予測や実現可能性等の状況を精査するとなっていて、不便地域の解消は、既存路線の見直し等で取り組んでいくと認識しています。

質問 持続可能な交通ネットワークを目指す上で、乗務員不足の問題があります。以前の一般質問で、委託料の中の人件費を増額する必要があると指摘しました。あれから2年、どういふことをやりましたか。

答弁 運行会社に対処改善

を行ったほうがいいのではという話をしました。

質問 運行会社任せではなく、人件費を増額するから、賃金を上げて乗務員不足解消に取り組んでもらいたいと言っべきです。これからやりませんか。

答弁 議員が言ったことについては、やっていかざるを得ないと考えています。

質問 タクシー料金助成は自己負担が高く、利用しづらい面があります。そうすると路線バスなど低料金で

利用できる公共交通網を、きめ細かく整備する必要がありそうですが、デマンド交通の検討はしたのですか。

答弁 可能性とすれば視野に入れるべきですが、具体的な検討はしていません。

質問 利用者が少ない理由で、運転免許の保有率が高いと言われましたが、運転免許がないと生活できないので、返納しない方も多いと思います。そういう点では、公共交通の潜在的なニーズは高いと思います。市民

研究していきたいと考えています。

質問 人口減少社会に必要な教育について伺います。

答弁 探究的な学びを推進し、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す児童生徒を育成していくことが重要だと考えています。

質問 今後の取組について伺います。

答弁 本市の特色を活かした3つの重点的な取組を実施していく予定です。1つ目は、たてばやし向井千秋

アンケートの結果で、運行本数が少ないというのがありました。一遍に全路線の運行本数を増やすことはできませんが、一日置きに運行している路線を毎日運行にするなどの考えはないのか。

答弁 運行本数を増やすには、新たな運転手の雇用や車両の購入が必要になります。現状でも運転手が不足している中で実現は難しく、車両も手配できない状況です。

記念子ども科学館との連携を一層強化します。2つ目は、里沼を題材とした探究的な学習を推進します。3

つ目は、多様な児童生徒が安心して学べる環境づくりに取り組んでいきます。そして、学びの多様な学校の設置についての研究を進め、不登校児童生徒の居場所や学びの場となる学校づくりにも力を

を入れていきたいと考えています。



空き家対策と学校再編後の教育について

飯島 一志 議員



質問 空き家の現状について伺います。

答弁 市内全域の空き家数は1733戸となり、前回調査時から357戸の増加となっています。

質問 補助金の要件緩和について伺います。

答弁 植栽等の撤去については助成対象外となります。

しかしながら、住宅の除却に伴い、植栽等も併せて撤去しているケースがほとんどであることから、一定の効果を上げているものと考えています。

質問 空き家バンクの現状について伺います。

答弁 本年8月1日現在の登録件数は3件で、平成29

年度からの累計登録件数は38件です。

質問 今後の空き家対策について伺います。

答弁 令和7年2月に民間企業と連携協定を締結し、利活用や売却を含めた空き家に関する様々な相談を一つの窓口で相談できる、家じまいの相談窓口を設置しました。ご提案の空き家予

備軍のときに所有者等の意思を確認し、地域で助け合う取組については、効果的な取組事例として、今後、